

ICOM

取扱説明書

特定小電力トランシーバー

IC-4077S

この取扱説明書は、別売品のこと記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた特定小電力トランシーバーです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

本製品は、防水構造ではありませんので、雨水などでぬれやすい場所では使用できません。

付属品について

本製品には、下記のことを同梱しています。

- ◎ バッテリーパック (BP-244) 1
- ◎ 急速充電器 (BC-164) 1
- ◎ ACアダプター (BC-151L) 1
- ◎ ハンドストラップ 1
- ◎ 取扱説明書(本書)
- ◎ 保証書

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

本製品の概要について

- ◎ 単信および半複信の通信方式*に対応しています。
- ◎ 単信は20チャンネル、半複信は27チャンネルに対応しています。
- ◎ 個別呼び出し機能に対応しています。
- ◎ 別売品の中継装置(IC-RP4100)を使用することで、電波が直接届かない場所でも交信できます。
- ◎ 本製品は、免許不要・資格不要です。
- ◎ 設定により、緊急信号を通話チャンネルの一致した局に送出できます。

★ 本製品の通信方式について

単信 : 無線機同士が直接通話する方式です。

送信と受信を交互に切り替えて通話します。

半複信: 別売品の中継装置を経由して通話する方式です。

単信と同じように、送信と受信を交互に切り替えて通話します。

使用後はリサイクルへ



Li-ion

この製品は充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページでご確認ください。

JBRC ホームページ <http://www.jbrc.com/>

取り扱い上のご注意

- ◎アンテナを持って、製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。
- ◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。
結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎本製品は、防水構造になっていませんので、雨水などに濡れやすい場所では、使用しないでください。
- ◎無線機本体やバッテリーパックと充電器の各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、正常に動作しないことがあります。
乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。
- ◎磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電波法上のご注意

- ◎本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎使用できるのは、日本国内に限られています。

自動車運転時のご注意

- ◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
- ◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
- ◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
- ◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で自動車を運転しないでください。

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

【インバーター内蔵のおもな電子機器】

- ◎LED照明器具
- ◎電磁調理器具
- ◎自動車に搭載された電子機器
- ◎太陽光発電装置

もくじ

この取扱説明書では、一般的なご使用を想定した内容にしていますので、設定されている機能について詳しくは、販売店にお尋ねください。

はじめに ————— i

もくじ ————— iii

1 安全上のご注意 ————— 1

- 無線機本体について……………1
- バッテリーパックについて……………3
- 充電器について……………5

2 ご使用前の準備 ————— 7

- バッテリーパックの取り付け……………7
- ハンドストラップの取り付け……………8

3 各部の名称と機能 ————— 9

- 前面部……………9
- 表示部……………11

4 基本操作のしかた ————— 13

- 1 電源を入れる……………13
- 2 音量を調整する……………13
 - 個別呼び出し機能の設定……………14

5 交信のしかた ————— 15

- 個別呼び出し機能「OFF」……………15
- 個別呼び出し機能「ON」……………16

6 その他の便利な機能 ————— 20

- 緊急呼び出し機能……………20
- グループトーン機能……………21
- 圏内確認機能……………22
- 接続確認ベル機能……………23
- 呼び出しベル機能……………24
- 秘話機能……………24
- スキャン機能……………25
- ワンタッチPTT機能……………25
- オートパワーオフ機能……………25
- モニター機能……………26
- 電池残量警告機能……………26
- キーロック機能……………26

7 イニシャルセットモードについて — 27

- ◇イニシャルセットモードの設定項目……………27
- ◇スキャン再開の設定……………28
- ◇呼び出しベルの設定……………28
- ◇ワンタッチPTT機能の設定……………28
- ◇コンパング機能の設定……………28
- ◇内蔵マイクの設定……………28
- ◇自局番号の設定……………28
- ◇個別呼び出し機能の設定……………29
- ◇自局グループ番号の設定……………29
- ◇通話チャンネル番号の設定……………29
- ◇連続トーンの設定……………29
- ◇ポケットビープの設定……………30

7 インitialセッモードについて(つづき)

- ◇緊急呼び出し音の設定 30
- ◇緊急着信音の設定 30

8 セッモードについて 31

- ◇セッモードの設定項目 31
- ◇ビーブ(操作音)の設定 31
- ◇オートパワーオフ機能の設定 31
- ◇表示部バックライトの設定 31

9 充電について 32

- 安全な充電のために 32
- 充電のしかた 32
- バッテリーパックの定格について 33
- BC-164(卓上急速充電器)の定格について 33
- バッテリーパックの特性と寿命について 33
- バッテリーパックの膨らみについて 33
- 正しい充電のために 34

10 別売品について 35

- 別売品リスト 35
- HM-153PL(イヤホンマイクロホン) 35
- SP-16P(イヤホン) 36
- CP-21L(シガレットライターケーブル) 36
- IC-RP4100(中継装置) 36

11 ご参考に 37

- 初期状態に戻す(リセッする)には 37
- 日常の保守と点検について 37
- 故障かな?と思ったら 38
- アフターサービスについて 39
- 従来製品との相互使用について 40

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、
必ずお読みください。

- ◎ 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の「△危険」「△警告」「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- ◎ お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

△危険

これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

△警告

これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

△注意

これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

【免責事項について】

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 無線機本体について

△危険

- ◎ 充電端子に水や金属類（針金、ネックレス、鍵など）が触れないようにしてください。
金属類の接触によるバッテリーパックの破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。
- ◎ 引火性ガスの発生する場所では、絶対に使用しないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。

△警告

- ◎ 民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。
運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。

■ 無線機本体について(つづき)

△警告

- ◎ 電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- ◎ 指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、破損の原因になります。
- ◎ 大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。
- ◎ 製品の分解や改造は、絶対にしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△注意

- ◎ アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
変形や破損の原因になることがあります。
- ◎ 針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ 無線機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- ◎ 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所に置かないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎ 指定以外の別売品を使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ 電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。
テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、プレーヤーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。
- ◎ -10℃~+50℃以外の環境では使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

1 安全上のご注意

■ 無線機本体について(つづき)

⚠注意

- ◎ 製品を投げたり、落としたりして、強い衝撃を与えないでください。
けが、故障の原因になることがあります。
- ◎ 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

■ バッテリーパックについて

⚠危険

- ◎ 火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
- ◎ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
- ◎ コンクリートなどのかたい床に落としたりするなど、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◆ バッテリーパックをご使用の際に、異常と思われたときは、使用しないで買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

■ バッテリーパックについて(つづき)

⚠危険

- ◎ 下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。
- バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
- バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
- 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
- バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- 弊社指定の充電器での充電、および無線機の使用について厳しい検査をしていますので、弊社指定以外の無線機や充電器、およびそれ以外の用途には使用しないでください。
- バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。
失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーパックは、分解や改造をしないでください。

⚠警告

- ◎ 使用中や充電中、または保管中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
- ◎ 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電やけがの原因になります。
- ◎ 電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 指定の充電時間以上、充電しないでください。
満充電後、すぐに再充電を繰り返すと、過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ◎ 指定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、ただちに充電を中止してください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ◎ テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。

1 安全上のご注意

■ バッテリーパックについて(つづき)

⚠警告


- ◎ バッテリーパックは、ぬれた状態で弊社指定の無線機や充電器に装着しないでください。

無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

⚠注意

- ◎ 下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。

- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。

長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、 (点灯)の状態を表示(※P26)するまで使用して、無線機から取りはずし、 -20°C ～ $+20^{\circ}\text{C}$ で湿気の少ない場所に保管してください。

- 5°C ～ 35°C 以外の環境で充電しないでください。
- -10°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で使用しないでください。
- 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。

ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。

乾いたやわらかい布でふいてください。

■ 充電器について

⚠危険

- ◎ 下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。

- 弊社指定(※P32)以外のACアダプター、シガレットライターケーブルを使用しないでください。
- 弊社指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。BP-243/BP-243L/BP-244専用の充電器です。
- 分解や改造をしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。

■ 充電器について(つづき)

⚠ 警告

- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
 - 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
 - ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
 - 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。
 - 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用しないでください。すぐにACコンセントから電源ケーブルを抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げ販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠ 注意

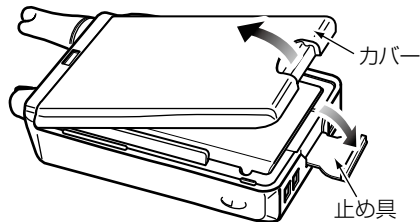
- ◎ 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。充電器の火災、故障、変形、変色、またはバッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になることがあります。
- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
 - 5℃～35℃以外の環境で充電しないでください。
 - 充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
 - 充電後や充電しないときは、充電器から電源ケーブルを抜いてください。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

2

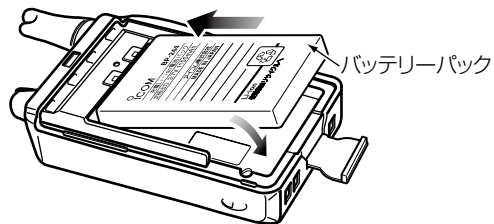
ご使用前の準備

■ バッテリーパックの取り付け

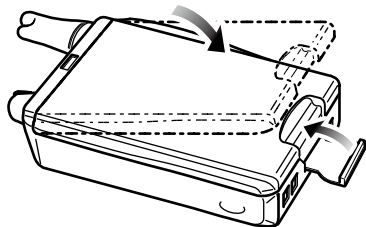
- ① 止め具をはずし、後面部のカバーを取りはずします。



- ② バッテリーパックを無線機に取り付けます。



- ③ 電池カバーをもとの位置に戻し、止め具で固定します。

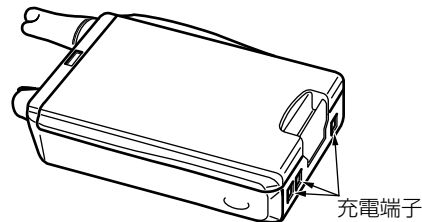


⚠ 危険

無線機底面部の充電端子を金属類に接触させないでください。

充電端子に水や金属類(針金、ネックレス、鍵など)が触れないようにしてください。

金属類の接触によるバッテリーパックの破裂、発火や火災、発熱や発煙、液漏れ、感電、やけどの原因になります。



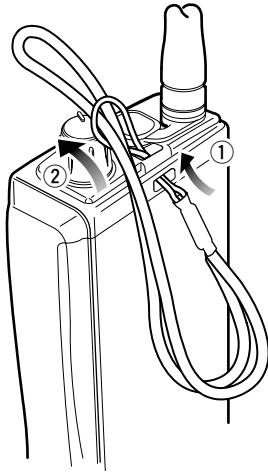
⚠ 注意

アンテナやハンドストラップの端を持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。

本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。

アンテナは、電波法上、取りはずせない構造になっています。

■ ハンドストラップの取り付け

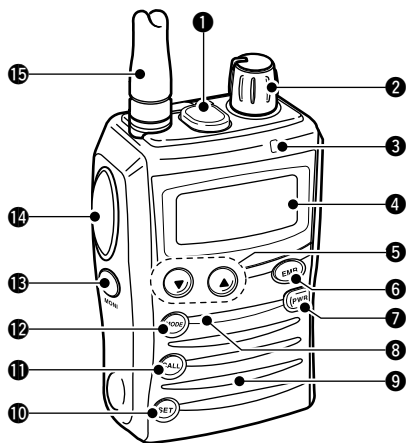


- ① 無線機の穴にストラップの端を通します。
- ② 穴から通したストラップの端に、もう片方の端を通します。

3

各部の名称と機能

■ 前面部



① MIC/SP端子

別売品のSP-16P(イヤホン)などを接続します。

※保護カバーをはずすと、接続できます。

接続しないときは、保護カバーを付けておきます。

② [VOL]ツマミ

ツマミを回すと、音量が調整できます。

③ 状態表示ランプ

送信/受信の状態を示します。

緊急信号の送受信をしたとき : 赤色で点滅

個別呼び出しを受けたとき : 緑色で点滅

④ 表示部

運用状態を表示します。

※電源を入れたときや各部のスイッチを操作したときは、表示部のバックライトが約5秒点灯します。

⑤ アップ/ダウン([▲]/[▼])スイッチ

各セットモードでは、設定項目の設定値を選択します。

(※P27、P31)

【個別呼び出し機能「OFF」時】

通話チャンネルを切り替えるスイッチです。

1回押すごとにチャンネルがアップ/ダウンします。

押しつづけると連続でアップ/ダウンします。

グループトーン番号を設定するモードでは、グループ番号を設定できます。(※P21)

[▲]スイッチを押しながら[▼]スイッチを押すと、アップスキャン(※P25)がスタートします。

[▼]スイッチを押しながら[▼]スイッチを押すと、ダウンスキャン(※P25)がスタートします。

【個別呼び出し機能「ON」時】

相手局を切り替えるスイッチです。

1回押すごとに相手局番号/グループ番号がアップ/ダウンします。

押しつづけると連続でアップ/ダウンします。

⑥ [EMR]スイッチ

長く押すと、本製品と同じ通話チャンネルの局に、緊急信号を送出します。(※P20)

⑦ [PWR]スイッチ

長く押すごとに、電源の「ON」/「OFF」を切り替えます。

⑧ マイク

内蔵のマイクです。

※イニシャルセットモードの[内蔵マイクの設定](P27)で、「In-on」(内蔵マイクを使用する)を設定していると、別売品のスピーカーマイクロホンなどを接続しても機能します。

⑨ スピーカー

内蔵のスピーカーです。

別売品のスピーカーマイクロホンなどを接続すると、内蔵のスピーカーは動作しません。

⑩ [SET]スイッチ

短く押すと、セットモードになります。(P31)

[SET]スイッチを押しながら[PWR]スイッチを押して電源を投入すると、イニシャルセットモードになります。(P27)各セットモードでは、短く押すごとに、設定項目を切り替えます。(P27、P31)

長く押すと、キーロック機能(P26)の「ON」/「OFF」を切り替えます。

⑪ CALL

短く押すごとに、各セットモードの設定項目を逆方向に切り替えます。(P27、P31)

【個別呼び出し機能「OFF」時】

グループトーン機能が「ON」のとき、短く押すと、接続確認ベルを送出します。(P23)

【個別呼び出し機能「ON」時】

短く押すと、全体呼び出しモードへ移行します。(P17)

[MODE]スイッチで、もとの表示に戻ります。

長く押すごとに、番号表示(小)の表示内容を、「自局のグループ番号」←→「自局番号」と切り替えます。

⑫ [MODE]スイッチ**【個別呼び出し機能「OFF」時】**

短く押すと、通話(交信)するモードと、グループトーン番号設定モードを切り替えます。

長く押すと、秘話機能(P24)が「ON」/「OFF」します。

[PTT](送信)スイッチを押しながら[MODE]スイッチを押すと、圏内確認機能(P22)が「ON」/「OFF」します。

【個別呼び出し機能「ON」時】

長く押すと、運用する通話チャンネル番号とトーン設定値を約2秒表示します。

⑬ [MONI]スイッチ

押しているあいだ、モニター機能(P26)が「ON」します。

⑭ [PTT](送信)スイッチ

送信と受信を切り替えるスイッチです。

送信するときは、[PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって話しかけます。

【個別呼び出し機能「OFF」時】

グループトーン機能が「ON」のとき、[PTT](送信)スイッチを押しながら[▲]スイッチを押すと、接続確認ベルを送出します。(P23)

[PTT](送信)スイッチを押しながら[▼]スイッチを押すと、呼び出しベルを送出します。(P24)

⑮ アンテナ

電波を発射、または受信する部分です。

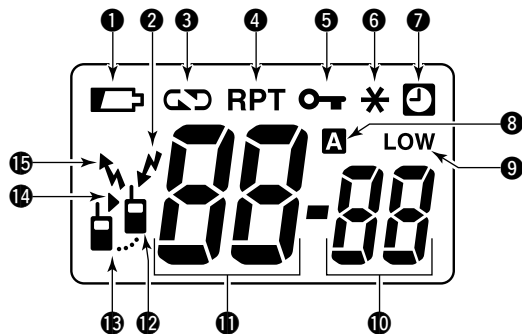
電波法上、取りはずせない構造になっています。

【ご参考】

電波法上、連続通話が3分を超えると、通話を自動的に切断します。(P19)

3 各部の名称と機能

■ 表示部



① 電池残量表示

電池の容量が少なくなると点灯します。
さらに少なくなると点滅します。(※P26)

② 受信表示

受信中表示します。

③ 秘話表示

秘話機能が「ON」のとき点灯します。

④ RPT(半復信)表示

レピータ(中継機)を使用して通話するチャンネル
(RPT1CH~RPT27CH)を選択したとき点灯します。

⑤ キーロック表示

キーロック機能が「ON」のとき点灯します。

⑥ コンパンド表示

コンパンド機能が「ON」のとき点灯します。

⑦ オートパワーオフ機能表示

オートパワーオフ機能が「ON」のとき点灯します。
(※P25、P31)

⑧ 個別呼び出し機能表示

個別呼び出し機能が「ON」のとき点灯します。

⑨ ローパワー表示

ローパワー(1mW)を選択したとき点灯します。

⑩ 番号表示(小)

セットモードのとき、設定項目の設定値を表示します。

【個別呼び出し機能「OFF」時】

グループトーン番号を設定しているとき、自局のグループ
トーン番号を表示します。

【個別呼び出し機能「ON」時】

自局のグループ番号または個別番号を表示します。

⑪ 番号表示(大)

セットモードのとき、設定項目を表示します。

【個別呼び出し機能「OFF」時】


通話チャンネル番号を表示します。

【個別呼び出し機能「ON」時】

運用する個別番号、またはグループ番号を表示します。

⑫ 自局表示

自局の運用状態を表示します。

13  (圏内/圏外表示)/(着信/交信中表示)**【個別呼び出し機能「OFF」時】**

(圏内/圏外表示)

圏内確認機能(☎P22)が「ON」のとき、相手局が通信圏内(点灯)か圏外(点滅)かを表示します。

【個別呼び出し機能「ON」時】

(着信/交信中表示)

個別呼び出し機能使用時、着信および交信中に表示します。

14 ワンタッチPTT表示

ワンタッチPTT機能(☎P25、P28)が「ON」であることを表示し、送信中は点滅、受信中、および待ち受け時は点灯します。

15 送信表示

送信中を表示します。


4 基本操作のしかた

1 電源を入れる

[PWR]スイッチを長く押すと、電源が入ります。

※再度、[PWR]スイッチを長く押すと電源が切れます。

電源が入ると、ピープ音が「ピピ」と鳴って、表示部が点灯します。このとき、表示部のバックライトが約5秒点灯します。

※電池の容量が少ないときは、表示部に電池残量表示“”が点灯し、さらに少ないときは点滅します。

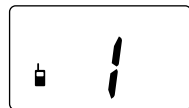
ほとんど容量がないときは、「Lo」を表示します。

◇電源を入れたときの表示について

電源を入れた直後に、個別呼び出し機能の「ON」/「OFF」を確認できます。

●個別呼び出し機能の設定:「OFF」

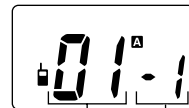
電源を切る前の通話チャンネル番号(例:1)を表示します。



●個別呼び出し機能の設定:「ON」

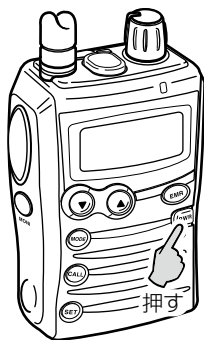
電源を切る前の個別(相手局)番号(例:01)と、自局のグループ番号(例:-1)を表示します。

※“**A**”が点灯します。



個別(相手局)番号

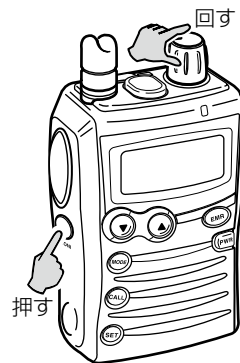
自局のグループ番号



2 音量を調整する

電波を受信中に相手局の音声を聞きながら、[VOL]ツマミを回して聞きやすい音量に調整します。

何も音が出ていない状態での調整は、[MONI]スイッチを押しながら、「ザー」という音を聞いて調整します。



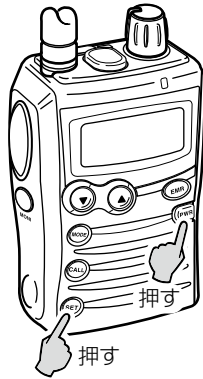
■ 個別呼び出し機能の設定

個別呼び出し機能とは、交信したい相手だけを呼び出しできる機能です。

本製品を運用する前に、イニシャルセットモードで、個別呼び出し機能(☞P29)の「ON」/「OFF」を設定してください。設定により、交信の操作手順が異なります。

<手順>

- ① 電源を切ります。
- ② **[SET]** スイッチを押しながら、**[PWR]** スイッチを押して電源を入れます。
 - イニシャルセットモードを表示します。
- ③ **[SET]** スイッチを短く押して、個別呼び出し機能設定項目「oF」を選択します。
 - ※ **[SET]** スイッチを押すごとに、
「Pt-tS」→「bL-01」→「Pt-oF」
→「Co-oF」→「In-oF」→
「Id 01」→「oF」→「on-1」*1
→「1- --」*1 →「 --」→
「Pb-b4」*1→「Cb-on」*2→「Eb-on」*2の順に切り替わります。



*1 個別呼び出し機能の設定が、「ON」のときだけ表示されます。

*2 設定により、表示されます。

※個別呼び出し機能に関係のある項目を選択しているときは、「A」が表示部に点滅表示します。

- ④ **[▲]**/**[▼]** スイッチを押して、個別呼び出し機能の「ON」/「OFF」を選択します。

● oF: 個別呼び出し機能を使用しない
(初期設定値)

- on: 個別呼び出し機能を使用する
※本製品、および従来製品★
を使用する相手と通信できます。



- ★IC-4350、IC-4350L、
IC-4500、IC-4800、IC-4810、IC-MS5010
- ※設定内容を「on」に設定して、**[SET]** スイッチを押すと、「on-1」(自局グループ番号)→「1- --」(通話チャンネル番号)→「 --」(連続トーン番号)→「Pb-b4」(ポケットビープ)の順に設定項目が切り替わります。
これらの設定内容も同様に、**[▲]**/**[▼]** スイッチで設定します。

- ⑤ **[PWR]** スイッチを押してセットモードを解除します。

◇個別呼び出し機能の設定により、交信の操作手順が異なります。

- 個別呼び出し機能が「OFF」の場合: ☞P15
- 個別呼び出し機能が「ON」の場合: ☞P16

5

交信のしかた

■ 個別呼び出し機能「OFF」

(個別呼び出し機能「ON」の場合P16)

1 通話チャンネルを選択する

【▲】/【▼】スイッチを短く押して、通話チャンネルを設定します。

押すごとに、1CH～20CH(単信方式)→RPT1CH～RPT27CH(半複信方式)の順に切り替わります。

※相手局と同じ通話チャンネルを設定していないと、通話できません。

※【▲】/【▼】スイッチは、押しつづけると連続動作になります。

連続動作は単信方式用通話チャンネル、半複信方式用通話チャンネルの下限(1CH/RPT1CH)になると、ビーブ音が短く鳴り、停止します。

スイッチをはなすと、再操作できます。

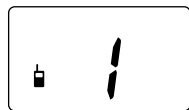
※目的の信号を静かに待ち受けする場合は、グルーブトーン機能(P21)を併せて設定できます。

◇通話チャンネル番号の選択について

通話チャンネル番号とは、交信する周波数のことです。

交信する全局は、同一チャンネルに設定してください。


本製品と、従来製品との相互使用については、40ページに記載しています。



チャンネル番号「1」

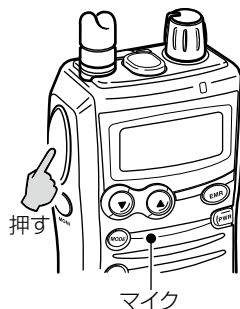
2 呼び出しをする

【PTT】(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって相手局を呼び出します。


送信中(【PTT】(送信)スイッチを押しているあいだ)は、表示部に“”が点灯します。



※半複信チャンネルを選択している時は、中継装置に回線が接続されますので、そのあいだは音声を中継できません。

【PTT】(送信)スイッチを押し、ビーブ音が“ピッ”と鳴ってからマイクに向かって話してください。




3 呼び出しを受ける

【PTT】(送信)スイッチをはなすと待ち受け状態になり、相手局が送信すれば音声が聞こえ受信になります。受信中は、表示部に“”が点灯します。

待ち受け状態のとき、“”と“”は消灯しています。



※“”は、通話相手以外の信号(同一チャンネルで他局が通話中)を受信しているときも点灯します。

4 交信する

送信と受信を交互にします。

※相手局が送信しているときは、**[PTT]** (送信) スイッチを押しても混信防止機能が動作し、ピープ音が“ブップブップ”と鳴り送信できません。

※送信の終わりに『どうぞ』を付け加えると、会話がスムーズになります。

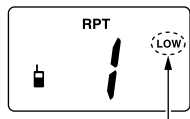
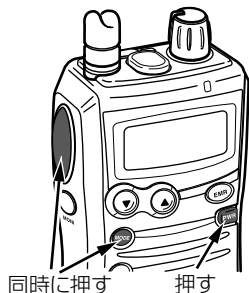
◇送信出力の切り替えかた

相手局との距離に応じて、送信出力(1/10mW)を切り替えてください。

※ 1mWで運用できるチャンネルは、レピータチャンネル(RPT1CH～RPT18CH)だけです。

電波法上、送信出力を10mWで運用しているときは、1回の連続通話時間が3分に制限されます。

- ① **[▲]/[▼]** スイッチを押して、レピータチャンネル(RPT1CH～RPT18CH)をセットします。
- ② いったん電源を切ります。
- ③ **[MODE]** スイッチと**[PTT]** (送信) スイッチを押しながら、**[PWR]** スイッチを押して電源を入れると、送信出力(1/10mW)が切り替わります。



1mW設定時点灯

■ 個別呼び出し機能「ON」

(個別呼び出し機能「OFF」の場合☞P15)

1 相手局を選択する

呼び出しには、次の3とおりがあります。

●個別呼び出し(☞P17)

相手局の個別番号を「00」～「99」から選択して、交信したい相手だけを呼び出す方法

●グループ呼び出し(☞P17)

グループ番号を「-0」～「-9」から選択して、選択したグループ番号に所属する局を一斉に呼び出す方法

●全体呼び出し(☞P17)

通信圏内の全局を一斉に呼び出す方法

<ご注意>

あらかじめ、インシャルセットモードで交信する相手局と、通話チャンネルと連続トーンを同じに設定しておきます。(☞P29)

相手局と設定が異なると、通話できません。
本製品、および従来製品(☞P40)を使用する相手と通信できます。

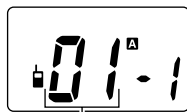
5 交信のしかた

■ 個別呼び出し機能「ON」

] 相手局を選択する(つづき)

● 個別呼び出し

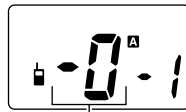
[▲]/[▼]スイッチを短く押して、相手局の個別番号を選択します。



相手局の個別番号

● グループ呼び出し

[▲]/[▼]スイッチを短く押して、相手局が所属するグループ番号を選択します。

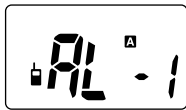


相手局のグループ番号

● 全体呼び出し


[CALL]スイッチを押して、全体呼び出し表示「AL」にします。

※ [MODE] スイッチで元の表示に戻ります。



2 呼び出しをする

[PTT] (送信) スイッチを押して、通話相手局を呼び出します。

送信中 ([PTT] (送信) スイッチを押しているあいだ) は、表示部に“”が点灯します。

※ 半複信チャンネルを選択している時は、中継装置に回線が接続されますので、そのあいだは音声を中継できません。

[PTT] (送信) スイッチを押し、ビーブ音が“ピッ”と鳴ってからマイクに向かって話してください。



送信表示

■ アンサーバック機能(個別呼び出し機能「ON」時の機能)

お買い上げいただいたときに、アンサーバック機能が交信する互いの無線機に設定されていると、相手局が通話圏内にいるかどうかを確認できます。

受信していない状態で [PTT] (送信) スイッチを押すと、相手局が通話圏内にいるときは、ビーブ音が高く“ピッ”と鳴ります。

3 呼び出しを受ける



相手局から個別呼び出しを受けると、相手局の個別番号を表示部に点滅表示し、[ポケットビープ(着信時の呼び出し音)]が繰り返し鳴ります。また、状態表示ランプが緑色に点滅します。

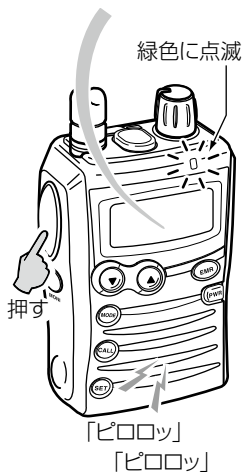
受信中は、表示部に受信表示“”が点灯します。

[PTT] (送信) スイッチを押すと、回線が接続されます。

※イニシャルセットモードで[ポケットビープ] (P30) の設定を「OFF」にすると、ビープ音は鳴りません。

※状態表示ランプが緑色に点灯しても、相手の音声聞こえてこないときは、他局への呼び出しを意味します。

[MONI] スイッチを押すと、他局の交信を聞けます。



【連続トーンによる待ち受け】

イニシャルセットモードで、[連続トーン] (P29) を設定しているときは、設定した連続トーン番号と同じ信号だけを受信します。

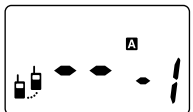
4 交信する

送信と受信を交互にします。

※相手局が送信しているときは、**[PTT]** (送信) スイッチを押しても混信防止機能が動作し、ビープ音が“**プップ**”と鳴り送信できません。

※送信の終わりに『どうぞ』を付け加えると、交互の会話がスムーズになります。

相手局から「全体呼び出し」、または「グループ呼び出し」を受けると、右図の表示だけで着信をお知らせします。



5 交信のしかた

交信時のアドバイス

◇ 通話（送信）時間の制限について

送信出力を10mWに設定して通話される場合は、以下の点にご注意ください。

1回の通話時間は、「3分以内」と電波法で定められています。

1回の通話時間とは、2秒以上途切れることなく連続して通話した場合、送信、受信を合わせて3分間です。

通話時間制限10秒前になると、ピープ音が「ピッ」と鳴り、その10秒後に強制的に通話を終了します。

また、3分以内でも2秒以上通話が途切れると、自動的に通話切れになります。

※通話が切れると2秒間は休止時間になり、回線は接続されません。

2秒以上待ってから、[PTT] (送信) スイッチを押すと、通話を再開できます。

◇ 交信範囲について

電波の届く範囲は、周囲の状況(天候、建物や山の陰など)により異なります。

下記の通信距離を目安に相手と交信してください。

見通しのよい場所	:約2km
郊外	:約1~2km
高速道路	:約500m
市街地	:約100~200m

※交信範囲であっても、建物のかげなどに入ると、交信しにくくなる場合があります。

そのときは、場所を少し移動して交信してください。

◇ マイクの使いかた

マイクに向かって話すときは、マイクと口元を5cmほどはなし、普通のおおきさの声で通話してください。

マイクを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、めいりょう度が悪くなる場合がありますのでご注意ください。

◇ 相手局の音が聞こえにくいときは

相手局の音が途切れたり、弱くなったりして聞こえにくいときは、[MONI] スイッチを押してください。

モニター機能(☞P26)が動作して、音が途切れなくなります。

ただし、通信の状況により効果のない場合があります。

※モニター機能が動作しているときは、待ち受けのときでも「ザー」という音が出ます。

◇ 相手局から応答がないときは

相手の無線機が電波を受信できない場所に移動したなどの理由で応答がないときは、呼び出す前の表示に戻ってから、もう一度[PTT] (送信) スイッチを押すと、繰り返し呼び出すことができます。

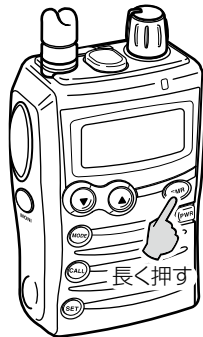
■ 緊急呼び出し機能

通話チャンネルの一致した局に、緊急信号を送出する機能です。

設定については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

<手順:送信側>

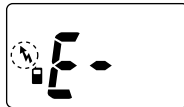
- ① **[EMR]** スイッチを長く押しします。
 - 緊急信号が送出されます。
 - ※**[EMR]** スイッチを押すと、緊急信号送出までの時間を表示します。
 - ※緊急信号送出中は、表示部に“E”を表示します。
 - ※**[EMR]** スイッチを緊急信号送出前にはなすと、緊急信号を送出しません。
 - ※電源が「OFF」の状態でも、**[EMR]** スイッチを押すと、緊急信号を送出できます。
 - ※送出できないときは、“E”が点滅します。



送出5秒前



緊急信号送出中



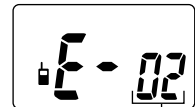
- ② 緊急信号の送出が完了すると、ベル音が鳴り、状態表示ランプが赤色に点滅します。
 - ベル音は、イニシャルセットモードで設定した種類のベル音が鳴ります。(P28)
 - ※ベル音を鳴らさない設定も選択できます。(P30)
 - ※**[PTT]** (送信) スイッチを押すと、ベル音が止まります。
- ③ 相手局が応答したら、交信できます。(P15、P16)
 - ベル音が止まり、呼び出しをする前の表示に戻ります。



<手順:受信側>

- ① 緊急信号を受信すると、ベル音“ピーロピーロ…”が鳴り、表示部に、緊急信号を送出した局の個別番号を表示します。
 - ※ベル音を鳴らさない設定も選択できます。(P30)
- ② **[PTT]** (送信) スイッチを押して、応答します。
 - ベル音が止まり、呼び出しを受ける前の表示に戻ります。

緊急信号受信中



緊急信号を送出した局の個別番号

6 その他の便利な機能

■ グループトーン機能

通話チャンネルとグループトーン番号の一致した局だけと通信するための機能で、目的の信号を受信するまで静かに待ち受けするのに便利な機能です。

※この機能は、個別呼び出し機能が「OFF」のときだけ使用できます。

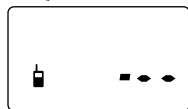
<手順>

- ① **[MODE]**スイッチを短く押して、グループトーン番号設定モードにします。

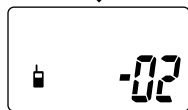
※以前にグループトーン番号を設定している場合は、その番号を表示します。

- ② **[▲]/[▼]**スイッチを短く押して、グループトーン番号(01~38)を選択します。

※**[▲]/[▼]**スイッチは、押しつづけると連続動作になります。連続動作は、“- --”になると、ビーブ音が鳴り、停止します。スイッチをはなすと、再操作できます。



グループトーン番号
設定モード



グループトーン番号
「02」

- ③ **[MODE]**スイッチを短く押して、グループトーン番号設定モードを終了します。

※通話チャンネルと、設定したグループトーン番号表示になります。



【ご注意】

- グループトーン機能設定後は、同一チャンネルで同じグループトーン番号の局だけと交信できます。グループ内の交信は、同一グループのすべての局で聞けます。
- グループ以外の局が同一チャンネルを使用中は、交信できません。
- 交信のしかたは、P15~P16をご覧ください。
- グループトーン機能を解除するときは、手順②で、グループトーン番号表示を“- --”に設定してください。


■ 圏内確認機能

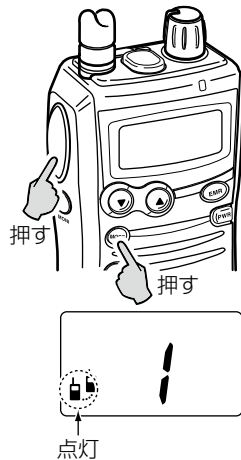
交信する相手局が圏内(電波の届く範囲)か、圏外かを自動的に判別する機能です。

※この機能は、個別呼び出し機能が「OFF」のときだけ使用できます。



個別呼び出し機能が「ON」のときは、アンサーバック機能(☞P17)で、相手局が通話圏内にいるかどうかを確認できます。

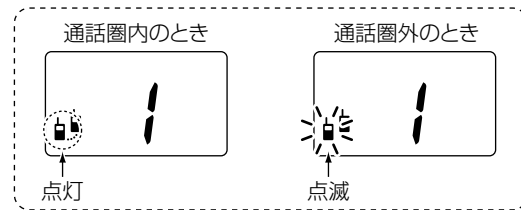
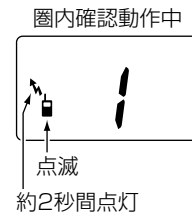
<手順>


- ① **[PTT]**(送信)スイッチを押しながら**[MODE]**スイッチを押して、圏内確認機能を「ON」にします。
 - 圏内/圏外表示“”を表示部に約5秒点灯します。



- ② 約5秒後に、圏内確認動作を自動的に開始します。

- 相手局が通信圏内のとき、“”が点灯します。
- 相手局が通信圏外のとき、“”が点滅します。



- ③ 圏内表示を確認し、交信します。(☞P16)
 - ※圏外表示のときは、交信できません。
 - ※中継装置を使用している場合は、相手局が圏内であっても、圏外表示する場合があります。
- ④ もう一度、**[PTT]**(送信)スイッチを押しながら**[MODE]**スイッチを押して、圏内確認機能を「OFF」にします。
 - 圏内/圏外表示“”が消灯します。

6 その他の便利な機能

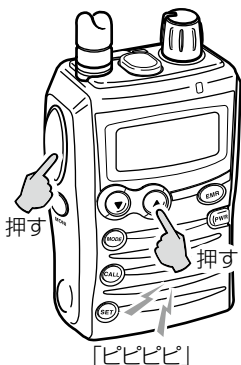
■ 接続確認ベル機能

グループトーン機能(☞P21)を設定しているとき、相手局と接続できると、送信側と受信側で約10秒ベルが鳴る機能です。

※この機能は、個別呼び出し機能が「OFF」のときだけ使用できます。

<手順>

- ① ベル音の種類をイニシャルセットモード(☞P28)で設定します。
- ② **[MODE]**スイッチを短く押して、グループ番号設定モードにします。
※**[▲]/[▼]**スイッチを短く押して、グループトーン番号(01~38)を選択します。(☞P21)
- ③ **[PTT]**(送信)スイッチを押しながら**[▲]**スイッチを押して、接続確認ベルを送出します。
●操作音“ピピピピ”が鳴ります。(ベル音ではありません)
自動的に接続信号を送出し、相手局との接続確認をします。
※**[CALL]**スイッチを押しても、接続確認ベルを送出できます。



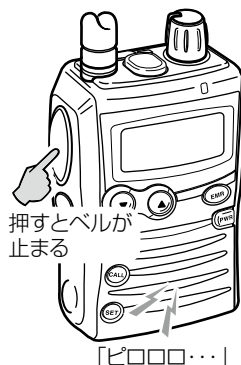
- ④ 接続ができると、送信側と受信側で約10秒ベルが鳴ります。

●ベル音は、送信側と受信側のイニシャルセットモードで設定した種類のベル音が鳴ります。

※レピータチャンネルRPT1CH~RPT27CHを使用している場合は、ベルは鳴りません。

※相手局が通信圏外にいたり、通話チャンネルが異なるのが原因で接続できないときは、送信側で“ブブブ”音が鳴ります。

※**[PTT]**(送信)スイッチを押すと、ベルが止まり、相手局と通話ができます。



■ 呼び出しベル機能

通話開始の合図や通話中に相手が出なくなったとき、もう一度呼び出しできる機能です。

呼び出しベル機能は、グループトーン機能の「ON」/「OFF」に関係なく動作します。

※この機能は、個別呼び出し機能が「OFF」のときだけ使用できます。

<手順>

- ① ベル音の種類をイニシャルセットモード(☞P28)で設定します。
- ② **[PTT]** (送信)スイッチを押しながら**[▼]**スイッチを押して、呼び出しベルを送出します。
 ※受信側では、送信側と同じベル音が鳴りますので、個別に異なるベル音を設定しておけば、呼び出し相手をベル音で判別できます。
 ※音声を送信しているときに、**[▼]**スイッチを押すと、音声の代わりに、ベル音を送出します。



■ 秘話機能

秘話機能を設定しない相手には、通話内容が聞き取りづらくなるため、他局に通話内容を傍受されるのを防止できます。※この機能は、個別呼び出し機能が「OFF」のときだけ使用できます。

なお、コンパンド機能(☞P28)とは併用できません。

<手順>

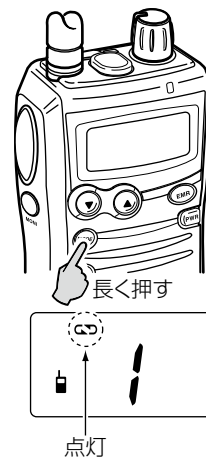
[MODE]スイッチを長く押しと、秘話機能が「ON」になります。

●「」が点灯します。

※もう一度同じ操作をすると、秘話機能を解除します。

<ご注意>

- 相手局と、通話チャンネル、および秘話機能の「ON」/「OFF」が異なると通話できません。
- 機密を要する重要な通話に使うことはおすすめできません。無線機間の通話は電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に防ぐことはできませんのでご注意ください。
- 秘話機能はチャンネルごとに設定できません。



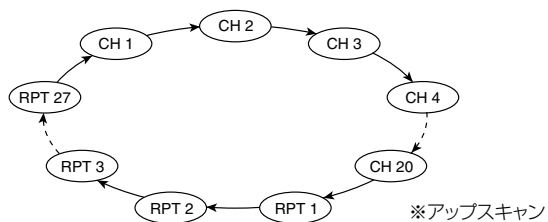
6 その他の便利な機能

■ スキャン機能

チャンネルを自動的に切り替えて、通話しているチャンネルがあれば、そのチャンネルを受信します。

なお、スキャン再開の条件は、イニシャルセットモードで設定します。(P28)

※この機能は、個別呼び出し機能が「OFF」のときだけ使用できます。



<手順>

- **[▲]** スイッチを押しながら **[▼]** スイッチを押すと、アップスキャンがスタートします。
- **[▼]** スイッチを押しながら **[▲]** スイッチを押すと、ダウンスキャンがスタートします。

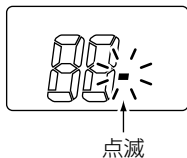
※スキャン中に **[▲]**、または **[▼]** スイッチを押すと、スキャンの方向が切り替わります。

※スキャン中は、“.”が点滅します。

※もう一度同じ操作をすると、スキャンを解除します。

また、**[PTT]** (送信) スイッチを短く押しても、スキャンを解除します。

スキャン中



■ ワンタッチPTT機能

[PTT] (送信) スイッチを短く押すごとに送信と受信を切り替える機能です。

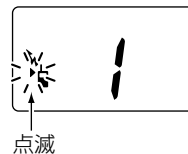
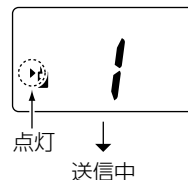
送信のとき、**[PTT]** (送信) スイッチを押しつづける必要がありません。

<手順>

ワンタッチPTT機能をイニシャルセットモードで設定します。(P28)

※ **[PTT]** (送信) スイッチを短く押すごとに送信と受信を切り替えます。

ワンタッチPTT
機能動作中



■ オートパワーオフ機能

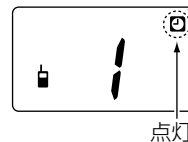
なにも操作しない状態が設定時間(30分、1時間、2時間)以上つづくと、ビープ音(ピピピッ)が鳴り、自動的に電源を切る機能で、電源の切り忘れを防止します。

<手順>

オートパワーオフ機能をセットモードで設定します。(P31)

- オートパワーオフ機能を設定すると、“**☒**”が点灯します

オートパワーオフ
機能動作中




■ モニター機能

受信中に相手の音声が入り切れたり、弱くなったりしたときに、聞こえ易くする機能です。


<手順>



受信中、相手の音声が入りにくいときは、[MONI]スイッチを押します。

[MONI]スイッチを押しているあいだはモニター機能が動作し、音声が入りやすくなります。

- モニター機能が動作しているときは、“

■ 電池残量警告機能

表示部の電池残量表示“


表示	バッテリーパックの状態
表示なし	十分に容量があります。
 点灯	充電する時期です。(短時間の運用は可能)
 点滅	すぐに使えなくなりますので、充電が必要です。
[Lo] 点灯	ほとんど容量がなく、運用することができません。

※電池残量表示が点滅する前に、充電することをおすすめします。

■ キーロック機能

不用意にスイッチに触れても、設定内容(表示)が変わらないように、スイッチ操作を無効にする機能です。キーロック中は、交信以外の操作を無効にします。

<手順>

[SET]スイッチを長く押し、
“ピッピッ”と鳴って、キーロック表示“

キーロック中でも、下記の操作ができます。

- 電源の「ON」/「OFF」操作
- [PTT] (送信) スイッチによる送信操作および受信の切り替え
- [VOL] ツマミによる音量調整
- [PTT] (送信) スイッチと[▼] スイッチによる呼び出しベルの送出
- キーロック機能の解除
- モニター機能の「ON」/「OFF」操作
- [EMR] スイッチによる緊急信号の送出

◇スキャン再開の設定

スキャンが一時停止後、再開する条件を設定する項目です。

- **St-t5** : 信号を受信したあと、5秒後にスキャンを再開する
(初期設定値)
- **St-P5** : 信号を受信したあと、5秒以上信号が途切れると、スキャンを再開する

◇呼び出しベルの設定

ベルの種類を設定する項目です。

※接続確認ベル機能や、呼び出しベル機能で使用します。
(☞ P23、P24)

- **bl-01** : 01～10の中から選択する
(初期設定値:01)

◇ワンタッチPTT機能の設定

ワンタッチPTT機能を設定する項目です。(☞ P25)

- **PT-oF** : ワンタッチPTT機能を使用しない
(初期設定値)
- **PT-on** : ワンタッチPTT機能を使用する

◇コンパンダ機能の設定(“*”が点滅します)
音声通話のめいりょう度を上げる機能です。

- **Co-oF** : コンパンダ機能を使用しない
(初期設定値)
- **Co-on** : コンパンダ機能を使用する
※交信するすべての無線機で同じ設定にしてください。

◇内蔵マイクの設定

外部PTTスイッチを使用するときの、本製品の内蔵マイクを設定する項目です。

- **In-oF** : 内蔵マイクを使用しない
(初期設定値)
- **In-on** : 内蔵マイクを使用する

◇自局番号の設定

自局の個別番号を設定する項目です。
※個別呼び出し機能で使用します。

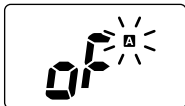
- **ld-01** : 00～99の中から選択する
(初期設定値:01)

7 イニシャルセットモードについて

◇個別呼び出し機能の設定(“A”が点滅します)

交信したい相手を個別に呼び出す機能を設定する項目です。

- of :個別呼び出し機能を使用しない (初期設定値)
- on :個別呼び出し機能を使用する



◇自局グループ番号の設定(“A”が点滅します)

※個別呼び出し機能の設定が、「ON」のときだけ表示されます。

自局のグループ番号を設定する項目です。

※グループ呼び出し機能で使います。

- on -* :-0～-9の中から選択する (初期設定値:-1)



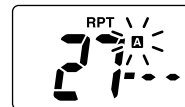
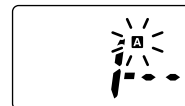
◇通話チャンネル番号の設定(“A”が点滅します)

※個別呼び出し機能の設定が、「ON」のときだけ表示されます。

自局が使用する通話チャンネル番号を設定する項目です。

※[通話チャンネル]番号とは、交信する周波数のことです。

- *-- :1～20(単信方式)、RPT1～RPT27 (半複信方式)の中から選択する (初期設定値:1)



◇連続トーンの設定(“A”が点滅します)

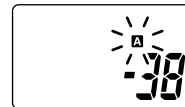
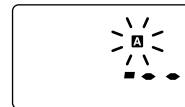
※個別呼び出し機能の設定が、「ON」のときだけ表示されます。

自局が使用する連続トーン番号を設定する項目です。

目的の信号を受信するまで静かに待ち受けたいときは、[連続トーン]も併せて設定します。

設定した連続トーン番号と同じ信号だけを受信します。

- -** :-、01～38の中から選択する (初期設定値:-)



◇ポケットビープの設定(“A”が点滅します)

※個別呼び出し機能の設定が、「ON」のときだけ表示されます。
[連続トーン]や[個別番号]の呼び出しを受けたときの着信音のパターンを選択する項目です。

- Pb-oF : 鳴らない
- Pb-b1 : 30回(30秒)鳴る
- Pb-b2 : 3回鳴る
- Pb-b3 : 3回連続で鳴ったあと、
1分ごとに1回鳴る
- Pb-b4 : 3回連続で鳴ったあと、
1秒ごとに1回鳴る
(初期設定値)



◇緊急着信音の設定

※設定により、表示されます。
緊急着信音の「ON」/「OFF」を設定する項目です。

- ※「ON」に設定すると、緊急呼び出しを受けたときに着信音が鳴ります。
- Eb-oF : 鳴らない
- Eb-on : 鳴る (初期設定値)



◇緊急呼び出し音の設定

※設定により、表示されます。
緊急呼び出し音の「ON」/「OFF」を設定する項目です。
※「ON」に設定すると、緊急信号送出後に呼び出し音が鳴ります。

- Cb-oF : 鳴らない
- Cb-on : 鳴る (初期設定値)

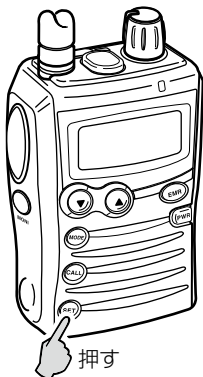


8

セットモードについて

セットモードを使用すると、本製品の設定を、お好みに応じて変更できます。

- ① **[SET]** スイッチを押します。
※セットモードを表示します。
- ② **[SET]** スイッチを短く押して、設定項目を選択します。
※**[SET]** スイッチを押すごとに、下図のように設定項目が切り替わります。
- ③ **[▲]/[▼]** スイッチを押して、設定内容を選択します。
※内容選択後は、**[SET]** スイッチを短く押して内容を確定すると、別の項目を選択できます。

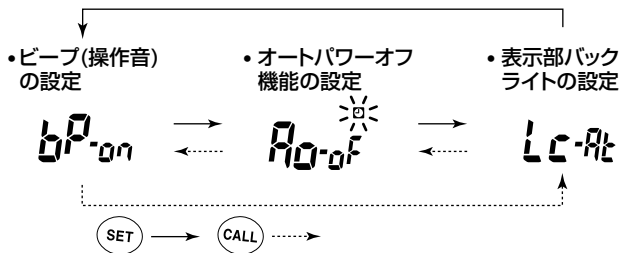


押す

[CALL] スイッチを短く押すと、手順③のときと逆方向に切り替えます。

※セットモードを解除するときは、**[MODE]** スイッチを押します。

◇セットモードの設定項目



◇ビープ(操作音)の設定

スイッチ操作が正しく行われたかどうかを知らせるビープ音を設定する項目です。
※操作したとき以外の警告音やベル音は、この設定に関係ありません。

- bP-oF : 鳴らない
- bP-on : 鳴る (初期設定値)



◇オートパワーオフ機能の設定 (“☀” が点滅します)

オートパワーオフ機能を設定する項目です。(※P25)

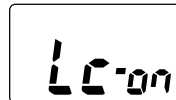
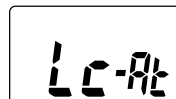
- Ao-oF : オートパワーオフ機能が動かない (初期設定値)
- Ao-30 : 約30分後に電源を切る
- Ao-1H : 約1時間後に電源を切る
- Ao-2H : 約2時間後に電源を切る



◇表示部バックライトの設定

スイッチ操作時に表示部のバックライトを点灯するか、しないかを設定する項目です。

- Lc-At : スイッチを操作したとき、自動で5秒点灯する
※5秒操作しない状態がつづくとき、消灯します。
(初期設定値)



- Lc-on : 常時点灯する
- Lc-oF : 点灯しない

■ 安全な充電のために

△ 危険

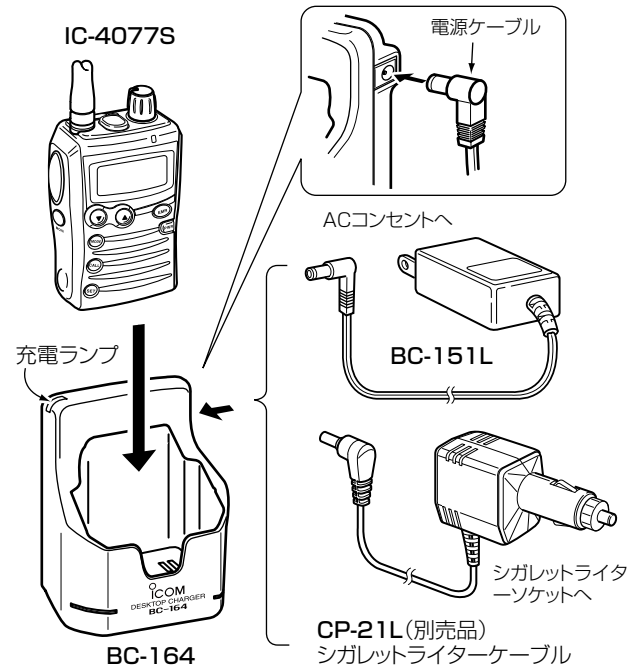
- ◎ 充電するときは、必ず指定の充電器をご使用ください。
- ◎ 指定(BP-243/BP-243L/BP-244)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。
- ◎ 「安全上のご注意」(1章)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

△ 注意

本製品やバッテリーパックがぬれたり汚れたりした状態で、充電しないでください。
本製品やバッテリーパック、または充電器の各端子がサビるなどして、故障の原因になります。

■ 充電のしかた

バッテリーパック(BP-243/BP-243L/BP-244)を無線機に装着した状態で充電します。
充電ランプは、充電中は橙色、充電完了で緑色に点灯します。
※赤色に点滅する場合は、38ページをご参照ください。



9 充電について

■ バッテリーパックの定格について

名称 定格項目	BP-243/BP-243L	BP-244	
電池の種類	リチウムイオン		
電池の容量	1800mAh	1100mAh	
出力電圧	3.7V	3.7V	
寸法 (幅×高さ×奥行)	35.3×11.4×53.1 <条件>突起物は含まず/<単位> mm	35.3×7.1×53.1	
運用時間	1mW時	約54時間	約31時間
	10mW時	約53時間	約30時間
	<条件> 送信1、受信1、待ち受け8の割合で、繰り返し運用		
充電時間	約3時間		約2時間
	<条件> BC-164を充電器に使用時		

※バッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

■ BC-164(卓上急速充電器)の定格について

定格入力電圧:DC12V

※ACアダプター(BC-151L)使用時

使用温度範囲:5℃～35℃

重量:約95g

寸法:67(W)×86.5(H)×50(D)mm

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

■ バッテリーパックの特性と寿命について

- ◎ バッテリーパックは、消耗品です。
充電できる回数は、300回～500回が目安です。
- ◎ 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
- ◎ 劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。
- ◎ 充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。
- ◎ 無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

■ バッテリーパックの膨らみについて


下記のような環境や条件で使用をつけると、バッテリーパックの性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。

- ◎ ひんぱんに充電している
 - ◎ 満充電直後でも再充電している
 - ◎ 高温な場所で使用・保管している
 - ◎ 本書で説明する充電方法と異なる
- バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。

■ 正しい充電のために

バッテリーパックを無線機本体に装着したまま充電するときは、必ず無線機の電源を切ってください。

電源を入れたままで充電すると、充電が完了しません。

- ◎ バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは必ず充電してください。
- ◎ 本製品のバッテリーパックは、使い切らずに継ぎ足し充電ができますので、常に満充電にしてご使用ください。
なお、満充電した直後に再充電しないでください。
- ◎ 極端に高温、または低温の環境、バッテリーパックと充電器の温度差が大きいときは、充電できないことがあります。充電器は、5℃～35℃の環境でご使用ください。
- ◎ 充電口や充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、正常に充電できないことがありますので、乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。
- ◎ 満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、バッテリーパックの寿命が短くなるおそれがあります。長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、残量表示が  (点灯)の状態になるまで使用し、無線機から取りはずした状態で保管してください。

10 別売品について

■ 別売品リスト

バッテリー関係

- BP-243 :バッテリーパック(1800mAh)
BP-243L :バッテリーパック(1800mAh)
(専用電池カバー付き)
BP-244 :バッテリーパック(1100mAh)

急速充電器/電源関係

- BC-151L :BC-164(卓上急速充電器)用ACアダプター
(補修用)
CP-21L :シガレットライターケーブル

無線機を保護する

- LC-161 :キャリングケース
LC-169 :キャリングケース(ベルトクリップ仕様)

マイクロホン/ヘッドセット関係

- HM-153PL :イヤホンマイクロホン
HM-166PL :小型イヤホンマイクロホン

イヤホン関係

- SP-16P :イヤホン(φ3.5mm)
※SP-16PB(黒色)
※SP-16PBW(黒色/ロングケーブル)
SP-32 :チューブ式イヤホンアダプター

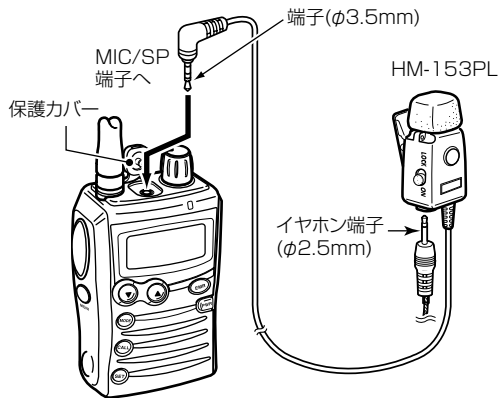
中継装置関係

- IC-RP4100 :中継装置
OPC-1856 :リモコンケーブル(IC-RP4100用)

■ HM-153PL(イヤホンマイクロホン)

本製品のMIC/SP端子へ直接接続して使用してください。

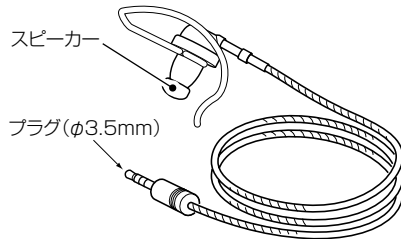
ご注意: 保護カバーをはずしてから接続してください。
接続しないときは保護カバーを取り付けてください。



■ SP-16P(イヤホン)

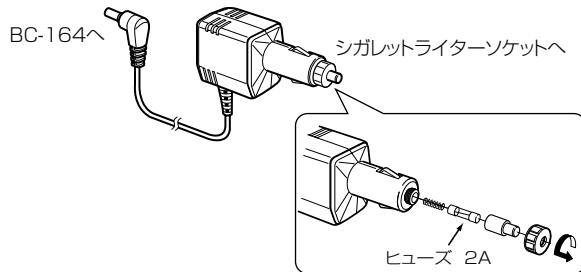
本製品のMIC/SP端子へ直接接続して使用してください。
どちらの耳でもご使用になれます。

※4極プラグを採用していますので、SP-16P以外のイヤホンでは動作しません。



■ CP-21L(シガレットライターケーブル)

付属品のBC-164と組み合わせて使用してください。
下図のようにヒューズが内蔵されています。



ヒューズの容量:2A

■ IC-RP4100(中継装置)

工場やビルの中などで、障害物によって電波が直接届かない場所では、中継装置を設置することで、本製品同士が交信できます。

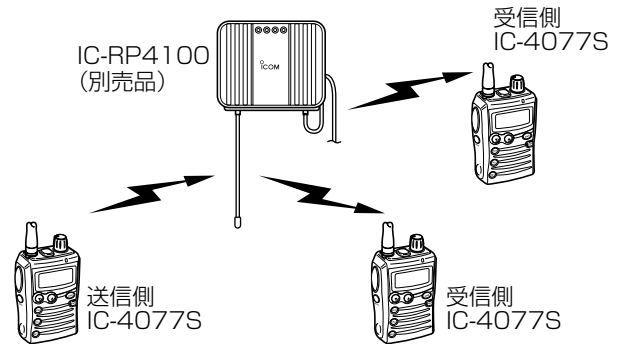
交信のしかたは、15ページ～19ページの説明と同じです。
※中継装置を使用して交信するときは、中継装置1台だけです。

2台以上の中継装置を経由して通信距離を伸ばすことはできません。

※中継装置の設定は、中継チャンネル以外の項目を出荷時の状態にしてご使用ください。

中継装置に付属する取扱説明書を参考に設定してください。

中継システム構成図



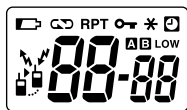
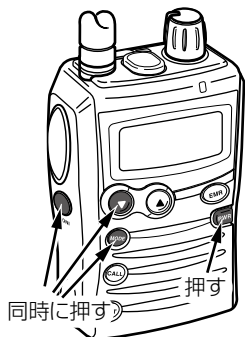
11 ご参考に

■ 初期状態に戻す(リセットする)には

「故障かな?と思ったら」(P38)の処置をしても異常があるときや、すべての設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、下記の操作でリセットできます。

<手順>

- ①電源を切ります。
 - ②【MONI】スイッチ、【MODE】スイッチ、【▼】(ダウン)スイッチを同時に押しながら、【PWR】スイッチを押します。
 - ③すべての表示が点灯したら、スイッチから手をはなします。
- ※約3秒すべての表示が点灯したのち、通話チャンネル「1」を表示します。



約3秒、
全点灯表示する



通話チャンネル
「1」を表示する

■ 日常の保守と点検について

- ◎ふだんは乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。洗剤や有機溶剤(シンナーやベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
- ◎無線機本体、充電器(BC-164)、バッテリーパック(BP-243/BP-243L/BP-244)の各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。
- ◎使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の電池残量表示(P26)を確認してください。また、バッテリーパックなどがしっかりと装着されているか点検してください。
- ◎定期的に決まった位置の相手局と通話して、交信状態に変化がないかを点検してください。
- ◎音量が最小にセットされていないか、【VOL】ツマミを回して確認してください。

■ 故障かな？と思ったら

下記のような現象は、故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

〈現象〉[PWR]スイッチを押しても電源が入らない

〈原因1〉バッテリーパックの接触不良

対処:バッテリーパックの充電端子を清掃する

〈原因2〉バッテリーパックの消耗

対処:充電する

〈原因3〉過放電保護回路が動作している

対処:少し充電したあとに電源を入れる

〈現象〉充電中に充電器のランプが赤色点滅になる

〈原因〉5℃～35℃以外の環境で充電している

対処:5℃～35℃の環境で充電する

※現象が変わらない場合は、バッテリーパックの故障または寿命ですので、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

〈現象〉表示部の表示が変化しない

〈原因〉ロック機能が動作している

対処:ロック機能を解除する(☞P26)

〈現象〉スピーカーやイヤホンから音が聞こえない

〈原因〉音量が最小にセットされている

対処:音量が最小にセットされていないかを確認する
それでも音が聞こえないときは、なるべく音量を低くして、[MONI]スイッチを押しながら、[VOL]ツマミを回して音量を確認する

〈現象〉交信できない

〈原因1〉相手局との距離が遠すぎる

対処:場所を移動してから交信してみる

〈原因2〉相手局が不在または電源を切っている

対処:相手局の状態を確認する

〈原因3〉相手局と通話チャンネルが合っていない

対処:通話チャンネルを合わせる(☞P15)

〈原因4〉RPT(半複信)表示が点灯している。


対処:相手局と同じ単信方式用の通話チャンネルに合わせる(☞P15)

〈現象〉送信できない(ビープ音が“ブップ”と鳴る)

〈原因1〉3分間の通話制限時間(☞P19)が経過した

対処:2～3秒後、もう一度送信する

〈原因2〉同じチャンネルの電波を受信している

対処:電波法上、受信表示“”が点灯中は、送信できないため、受信表示が消えたことを確認して送信するか、[通話チャンネル]番号を変更してから送信する

11 ご参考に

■ 故障かな?と思ったら(つづき)

〈現象〉呼び出しをしても応答がない

【個別呼び出し機能が「OFF」の場合】

〈原因〉相手局と通話チャンネルまたはグループトーン番号が合っていない

対処:設定を合わせる(☎P15、P21)

【個別呼び出し機能が「ON」の場合】

〈原因1〉相手局と通話チャンネルまたは連続トーン番号が合っていない

対処:設定を合わせる(☎P29)

〈原因2〉呼び出す相手局の個別番号に設定されていない

対処:相手局の個別番号に合わせる
(☎P16~P17)

■ アフターサービスについて

「■ 故障かな?と思ったら」(☎P38)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にご連絡ください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● 弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先:アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00~17:00)

電子メール: support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ: <http://www.icom.co.jp/>

● 弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

■ 従来製品との相互使用について

■ : 通話可能範囲

従来製品と相互に使用するときは、右記の表をご覧ください。

※個別呼び出し機能(☎P14)は、IC-4350、IC-4350L、IC-4500、IC-4800、IC-4810、IC-MS5010と互換性があります。

※秘話機能(☎P24)は、IC-4300、IC-4300L、IC-4350、IC-4350L、IC-4500、IC-4188D、IC-4810、IC-MS5010と互換性があります。

機種名	通話チャンネル			通話チャンネル(中継用)		
	01	11	20	RPT 1	RPT 18	RPT 27
IC-4088	■	■	■	■	■	■
IC-4088D	■	■	■	■	■	■
IC-4100D	■	■	■	■	■	■
IC-4110D	■	■	■	■	■	■
IC-4188D	■	■	■	■	■	■
IC-4300	■	■	■	■	■	■
IC-4300L	■	■	■	■	■	■
IC-4350	■	■	■	■	■	■
IC-4350L	■	■	■	■	■	■
IC-4500	■	■	■	■	■	■
IC-4800	■	■	■	■	■	■
IC-4810	■	■	■	■	■	■
IC-MS5010	■	■	■	■	■	■
IC-4008W	■	■	■	■	■	■
IC-4100	■	■	■	■	■	■
IC-4110	■	■	■	■	■	■
IC-4008BD	■	■	■	■	■	■
IC-4008	■	■	12→	■	■	■
IC-4008D	■	■	12→	■	■	19→
IC-RP4100	■	■	■	■	■	■

高品質がテーマです。

A-6571D-1J-③
Printed in Japan
© 2007-2016 Icom Inc.

この印刷物は環境にやさしい再生紙と植物性インクを使用しています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32